

東京放射線

2018年6月号

Vol.65 No.762



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

会告連載
小野賞　白木尚
第62回きめこまかな生涯教育
第63回きめこまかな生涯教育
（急性疾患アラカルト） 第三部 骨折系「椎体」　山口勝也
研修会等申込書
登録事項変更届

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

2018年
JUN
CONTENTS

目 次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 小野賞	4
会告1 第62回きめこまかな生涯教育	5
会告2 第63回きめこまかな生涯教育	6
会告3 平成30年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」	7
会告4 第79回日暮里塾ワンコインセミナー	8
会告5 第17回サマーセミナー	9
会告6 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	10
お知らせ1 平成30年度第9地区研修会	12
お知らせ2 平成30年度第4地区研修会	13
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	14
連 載 学術が行く～急性疾患アラカルト～	
第三部 骨折系「椎体」	15
こ え	
・骨軟部撮影セミナー2018に参加して	20
・骨軟部撮影セミナー2018に参加して	21
・第6地区meetingに参加して	22
・第76回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して	24
・第76回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して	24
・平成29年度SR推進委員会(公益・災害)研修会に参加して	25
原 基壱	
パイプライン	
・下町撮影技術検討会 第30回記念大会	26
・第35回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内	27
・平成30年度第1回関東Angio研究会	28
・平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	30
・南関東FRT第4回研修会	32
平成30年度4月期会員動向	33
追悼	33
平成30年度第1回理事会報告	34
研修会等申込書	38
登録事項変更届	39

Column & Information

・お詫びと訂正	21
・学術講演会・研修会等の開催予定	37

卷頭言



小野賞

副会長 白木 尚

本会は5月26日(土)に第69回定期総会ならびに、第16回ペイシェントケア学術大会を「Medical care trusted by patients」をテーマに開催しました。学術大会では最初に、各現場からの接遇についての取り組みが報告されました。続いて「患者から信頼される医療の実践」をテーマに多職種によるシンポジウム、教育講演では診療放射線技師より被ばく低減施設の取得について、特別講演では「患者の健康は食事から」と題して栄養士の方からご講演いただきました。まさに本大会名の原点ともいえるテーマで開催され、患者から信頼される医療の実践について一緒に考える機会となりました。

総会は初めての代議員制により開催されました。今後は、さらに効率的に開催できるよう進めていく所存です。総会議事に先立ち、表彰が執り行われました。受賞者の皆さま、おめでとうございます。

今月の巻頭言を掲題にしましたのは、「小野賞」の由来について地区からの質問があり、その回答についてこのページで紹介することにしました。表彰規程では、以下の通り既定されています。

(表彰の種類)

第2条 この法人の正会員で、次の各号の1つに該当する者は、本規程により表彰することができる。

- (1) 特別功労賞 (2) 功労賞 (3) 医療功労賞及び善行賞 (4) 奨励賞 (5) 小野賞

この法人の活動、地域医療に多年にわたり功労があり、各委員会より推薦された次の各号に該当する者とし、推薦は委員会から原則1名とする。

- ア 10ヶ年以上放射線業務に精励し、かつ、会費、負担金等を引き続き10ヶ年以上完納している者
イ この法人の委員等に引き続き5ヶ年以上就任し、会務に貢献した者

2 前項のほか、理事会が必要と認めた個人及び団体

なお、この規程は平成29年の総会で改正されています。改正前の小野賞は、地区活動に特化して地区からの推薦に限定されていましたが、改正後は、この法人の活動に功労がある各委員会からの推薦ということで、専門部委員会を含めて推薦していただくことになりました。規程等には記載がありませんが私の記憶では、推薦に当たり委員長などの表舞台(?)で活躍している方ではなく、長年委員として縁の下の力持ち的にひた向きに活動している方々を表彰したいという賞だと認識しています。

小野賞が設置された当時、私は直接関わっていませんでしたので、経緯について葛西前副会長と元福利理事で現 第16地区委員の川上光氏より情報をいただきましたので紹介します。

本会が平成6年に日暮里・武蔵ビル505号室に事務所を所得し移転するまでの数年間、東京八重洲の千代田メディカル株式会社の一室を、東放技と技術学会東京部会の事務所として机を向き合いながら設置させていただいたそうです。また、毎月の理事会は会議室を借りて開催していたそうです。その環境をご提供された方が社長の小野鎮馬氏です。やがて永眠され、その厚意を忘れてはいけないと業績を称えるとともに、技師法制定の当初より本会に多大な便宜をいただいたことに対して社長に厚く御礼を申し上げる思いも含めて、平成7年度より小野賞を設置し表彰することにしたそうです。

さて、第69回本会定期総会において、役員改選および本年度事業計画案等を提案させていただきました。計画に基づき役員一同一丸となって推進していく所存です。そのためには会員の皆さまのご協力なしには進んでいかません。これからも技師会活動は「技師会はひとりのため(に役立ちたい)、ひとりは技師会のため(にご協力いただきたい)」をモットーに進めてまいります。大きなイベントとしては、2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会東京開催がございます。盛会な開催となるよう準備を進めています。「つながる医療 つなげる“和”」を合言葉に学会2019を一緒に盛り上げていただきますよう、よろしくお願ひ致します。

第62回きめこまかな生涯教育

テーマ「CT基礎を理解する（初級者向け）」…次のステップに行く前に…

今回はCTの基礎を特集します。CT装置・検査内容は日々進歩していますが、基礎となる部分を理解しておくことは重要と考えます。今回はCT装置に精通した講師をお招きし、分かりやすく解いていただきたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

9:30～10:30 「CT装置の基礎」

・原理および画質（MTF、NPS）

講師：北里大学北里研究所病院 小林隆幸

10:30～11:30 「CT装置の線量管理」

・線量測定およびDRL

講師：東京慈恵会医科大学附属病院 庄司友和

11:30～12:30 「CT検査の実践」

・造影技術および臨床画像解説

講師：日本大学医学部附属板橋病院 市川篤志

記

日 時：平成30年6月24日（日）9時30分～12時30分（受付開始9時00分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

（当日入会及び入会申込中の方は「新卒かつ新入会員」扱いとなります）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告

2

第63回きめこまかな生涯教育

テーマ「やさしいMRI（初級者向け）」…次のステップに行く前に…

講師：東京大学医学部附属病院 鈴木 雄一

今回はMRIの基礎を特集します。MRI装置・検査内容は日々進歩していますが、基礎となる部分を理解しておくことは重要と考えます。今回はMRI装置に精通した講師をお招きし、分かりやすく解いていただきたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

14:00～15:00	「MRI装置と原理」
15:00～16:00	「脂肪抑制と代表的なアーチファクト」
16:00～17:00	「よく用いられるシーケンス」

記

日 時：平成30年6月24日（日）14時00分～17時00分（受付開始13時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員2,000円、非会員10,000円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

（当日入会及び入会申込中の方は「新卒かつ新入会員」扱いとなります）

申込方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成30年度診療放射線技師基礎技術講習

テーマ「一般撮影」

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

このたび平成30年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」を開催致します。

この基礎技術講習では公益社団法人日本診療放射線技師会が定めた学習目標に沿った講義を行います。診療放射線技師として、そして医療の担い手として必要な基礎知識と技術を身に付け、医療及び保健、福祉の向上に努めることを目的としております。

今回の開催は全国的に一定レベルのセミナーを普及・拡大させ、全ての診療放射線技師が受講できる環境を整えるように計画されたものであります。また学習目標の理解度の判定として全講義終了時に臨床技能検定を実施します。多くの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成30年7月8日（日）9時00分～（受付開始8時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（ただし、検定試験料1,000円を含む）

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間（6時間）に対し、欠課の合計時間が60分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つでもあった場合

締め切り：平成30年6月24日（日）

以上

プログラム

限	時間	科目	講師名/所属
	9:00～ 9:10	開講式・オリエンテーション	
1	9:10～ 9:55	撮影-1 胸部・ポータブル撮影	中西 章仁（杏林大学医学部付属病院）
2	9:55～10:40	撮影-2 頭頸部・甲状腺	岡本 淳一（東京医科大学病院）
3	10:55～11:25	撮影-3 歯科・顎骨・口腔	相澤 光博（東京歯科大学 水道橋病院）
4	11:25～12:25	撮影-4 脊椎・関節・上下肢・軟部	工藤 年男（春日都市立医療センター）
5	13:10～13:55	撮影-5 腹部・骨盤	野中 孝志（公立福生病院）
6	13:55～14:40	撮影-6 腹部・生殖器（造影含む）	野中 孝志（公立福生病院）
7	14:55～15:40	診断用X線装置・画像処理装置	市川 重司（公立福生病院）
8	15:40～16:25	注意点および検像	野口 幸作（東京臨海病院）
	16:40～17:10	臨床技術能力検定	
	17:10～	閉講式	

会 告

4

第79回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ 「明日から役立つ知識～一般撮影～」 —実技(実演)によるポジショニング—

今回は実技(実演)によるポジショニングの勉強会を行います。

講師が実践しているポジショニングを伝授致します。

※今回は実習のために定員制で行います(事前申し込み必須)。

～内 容 (3名の講師によるポジショニング実習)～

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 胸部・腹部 | 杏林大学医学部付属病院 山下 晃司 |
| 2. 脊椎(頸椎、胸椎、腰椎) | 杏林大学医学部付属病院 井上 靖嗣 |
| 3. 肩関節・膝関節 | 杏林大学医学部付属病院 橋本 直也 |

記

日 時：平成30年7月19日(木) 19時00分～20時30分

場 所：国分寺労政会館

国分寺市南町3-22-10

ア クセス：JR中央線 国分寺駅南口下車 徒歩5分

定 員：45名(先着順、定員制)

受 講 料：会員500円、非会員3,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム(研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択)からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第17回サマーセミナー

テーマ「骨盤領域疾患を理解する」

第17回サマーセミナーは骨盤領域について特集します。

日頃検査で画像は見慣れていると思いますが、知識がやや不足しているのは否めないと思います。今回は各種検査画像なども踏まえ、臓器別に特徴的な画像を紹介していただき、知識を増やしていきたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム～

15:00～15:30	婦人科（子宮）疾患と画像
15:30～16:00	婦人科（卵巣）疾患と画像
16:15～16:45	泌尿器（前立腺）疾患と画像
16:45～17:15	泌尿器（膀胱）疾患と画像

記

日 時：平成30年8月25日（土）15時00分～17時15分

会 場：東京医科大学病院 教育研究棟 3階第1講堂
新宿区西新宿6-7-1

ア ク セス：JR新宿駅西口下車 徒歩15分

都営大江戸線 都庁前駅下車 徒歩7分

東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅下車 徒歩1分

定 員：100名（先着順）

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成30年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成30年度の本会においての予定は下記の通りです。

記

受講料：会員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者：5,000円、静脈注腸受講者：3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締め切りとします。

【第2回】

日 時：平成30年7月15日（日）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年7月16日（月・祝）8時30分～17時30分
場 所：東京都診療放射線技師会研修センター
東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号
ア ク セス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
募 集 人 数：30名

【第3回】

日 時：平成30年9月8日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成30年9月9日（日）8時30分～17時30分
場 所：首都大学東京 荒川キャンパス（予定）
東京都荒川区東尾久7-2-10
ア ク セス：日暮里・舎人ライナー 熊野前駅 徒歩3分
募 集 人 数：100名

【第4回】

日 時：平成30年11月17日（土）9時10分～18時20分（受付開始9時00分～）
平成30年11月18日（日）9時10分～17時00分
場 所：三鷹産業プラザ 会議室
東京都三鷹市下連雀3-38-4 三鷹産業プラザ
ア ク セス：JR中央線・総武線 三鷹駅南口 徒歩約7分
募 集 人 数：70名

【第5回】

日 時：平成31年1月26日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成31年1月27日（日）8時30分～17時30分
場 所：東京都診療放射線技師会研修センター
東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号
ア ク セス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
募 集 人 数：30名

【第6回】

日 時：平成31年3月2日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成31年3月3日（日）8時30分～17時30分
場 所：会場調整中
ア ク セス：未定
募 集 人 数：未定

以上

お知らせ

1

平成30年度 第9地区研修会

テーマ「これから始める超音波検査」

講 師：群馬パース大学 保健科学部放射線学科 助教 今尾 仁 氏

今回、第9地区研修会は超音波検査について開催致します。

これから超音波検査を始める方や始めたばかりの方を中心に基礎的な講義をしていただきます。また超音波検査を担当したことのない方にも、超音波画像の読影の仕方などを分かりやすく解説していただき、業務に必要な知識をより深めていただきたいと思っております。

若い診療放射線技師の方をはじめ、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成30年7月17日（火）19時00分～20時30分（受付開始18時30分）
場 所：板橋区立グリーンホール 6階 601会議室

〒173-0015 東京都板橋区栄町36-1

ア クセス：東武東上線 大山駅 北口から徒歩約5分

都営三田線 板橋区役所前駅 A3出口から徒歩約5分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第9地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：30名

問い合わせ：第9地区委員長 市川篤志 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成30年度 第4地区研修会

テーマ「いまさら聞けない乳房検査～高濃度乳腺の現状から診断まで～」

講 師：がん研究会有明病院 乳腺センター 乳腺外科医長 荻谷 朗子 先生

今回の研修会は、ご存知“いまさら聞けない”シリーズになります。

高濃度乳腺をテーマに取り上げ、近年日本人で問題となっている高濃度乳腺の現状と臨床診断までをご講演いただきます。乳房検査にはマンモグラフィ、超音波、CT、MRI、PETまでさまざまなモダリティが利用されています。本研修会では多岐にわたる乳房検査にスポットを当て、画像診断から病理診断、さらに最新のトピックスまで盛りだくさんの内容で勉強をしようと考えております。

乳房領域の検査は女性技師が携わることが多いと思いますが、複数モダリティによる診断が利用される現状では男性技師が関わることが多くあります。本研修会で乳房疾病について改めて勉強してみてはいかがでしょうか？ きっと再発見があると思います。

会員・非会員問わずお誘い合わせの上、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成30年7月27日（金）19時00分～（受付開始18時30分）

場 所：東京都済生会中央病院 新棟7階 第1会議室

参 加 費：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第4地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 目黒一浩 E-Mail : area04@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 3

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひご活用ください。



東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研修会・イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

トップページの
ここをクリック

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離箱式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第1回）（1...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなる生涯教...

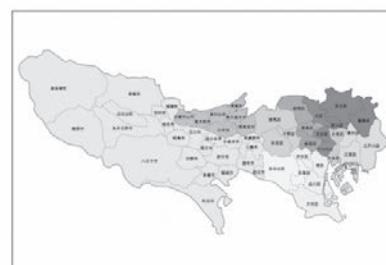
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第7地区	豊田区	江戸川区
	第14地区	千葉方面地区	千葉地域
	第4地区	港区	渋谷区
	第9地区	品川区	大田区
	第11地区	世田谷区	目黒区
	第15地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第3地区	新宿区	
	第9地区	世田谷区	
	第10地区	練馬区	杉並区
城南支部	第5地区	文京区	武蔵区
	第6地区	豊島区	墨田区
	第16地区	埼玉方面地区	埼玉地域
多摩支部	第1地区	西東京市	東久留米市
	第12地区	清瀬市	小平市
	第13地区	東村山市	東大和市
	第14地区	武藏村山市	
	第15地区	上記、第12地区以外の多摩地域	



第三部 骨折系
椎体

聖路加国際病院 放射線科 山口 勝也

サマーセミナーやウインターセミナーでご好評をいただいた「急性疾患アラカルト」が、3つの領域と各回それぞれにテーマを変えて本誌で連載しています。第十二回目は、椎体について解説致します。

1 脊椎・脊髄外傷の原因

脊椎・脊髄外傷を来す外傷の原因として、その頻度が高い順に「交通事故」「高所からの転落」「転倒」が挙げられる。

今回は、脊椎外傷に関する検査および画像観察のポイントを、これらの症例を踏まえながら概説する。

2 主な脊椎の検査

脊椎の検査は、primary surveyで全身状態の安定が確認された後に行われるsecondary surveyの全身損傷検索項目の1つとされている。

最新のJATECでは、頸椎の画像評価をX線CT検査で行うことを推奨しており、実際の現場でもCT画像による評価が中心になりつつある。CT画像で脊椎損傷所見がある症例や明らかな脊椎損傷がなくても神経所見がある場合は緊急MRIの適応となる。

3 正常画像とポイント

～頸椎側面～

- 4つのラインが段差なく滑らかに結べている（図1a）。
- 脊柱管前後径14mmを超えている（図1b）。

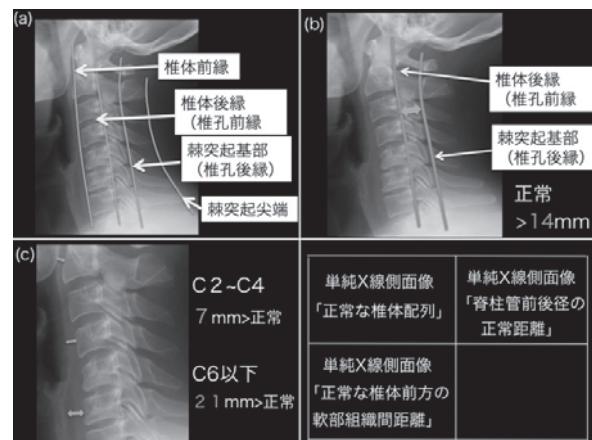


図1 頸椎単純X線像（側面）

- 椎体前方の軟部組織間距離はC2からC4レベルで7mmより短く、C6レベルで21mmより短い（図1c）。

～頸椎正面・側面（軸椎）・開口位～

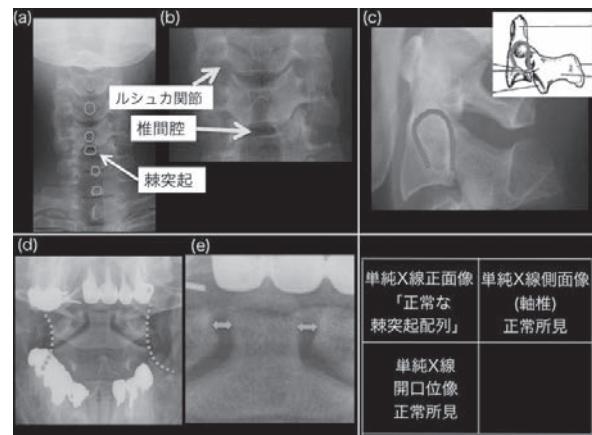


図2 頸椎単純X線像（正面・側面・開口位）

- ・棘突起の配列に段差がなく、「ルシュカ関節、椎間腔」が上下でそれぞれはっきり観察できる（図2a、b）。
- ・軸椎側面になぞった線（—）が滑らかにつながってリングの破綻がない（図2c）。
- ・環椎と軸椎の外側をなぞった点線が滑らかにつながっている（図2d）。
- ・歯突起と環椎内側との距離が左右で等しい（図2e：↔）。

～胸腰椎正面～

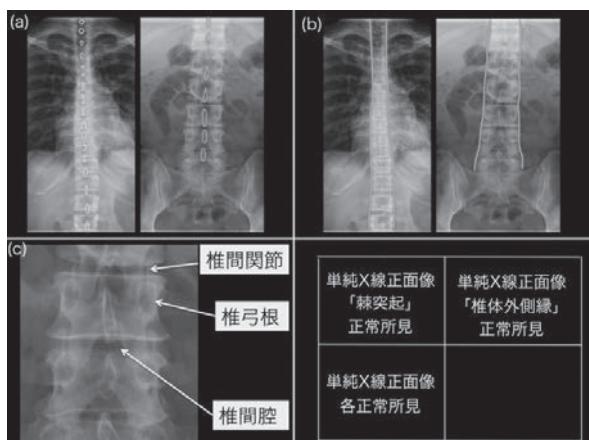


図3 胸腰椎単純X線像（正面）

- ・棘突起の配列が滑らかで段差がない（図3a）。
- ・椎体外側縁に突然の段差がない（図3b）。
- ・椎体が潰れていない（図3c）。
- ・各椎体の「椎間関節・椎弓根・椎間腔」に上下左右で大きく差がない（図3c）。

～胸腰椎側面～

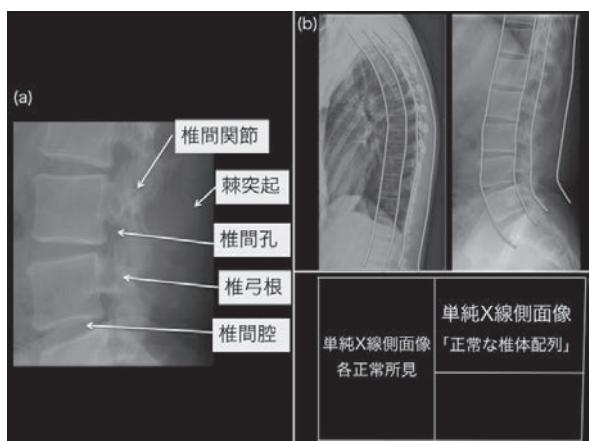


図4 胸腰椎単純X線像（側面）

- ・「椎間関節・棘突起・椎間孔・椎弓根・椎間腔」に上下で大きな差がない（図4a）。
- ・4つのラインが段差なく滑らかに結べている（図4b）。

4 脊椎MRI検査法のポイント

基本となるシーケンスは以下の3つである（胸腰椎も同様）。

- ・T1強調矢状断
- ・T2強調矢状断
- ・T2強調横断像

実際には、必要に応じて「脂肪抑制T2強調矢状断・STIR T2強調矢状断・T1強調横断像」を追加する。

脂肪抑制T2強調像では椎体周囲の炎症性変化や外傷性変化を観察し、骨病変が疑われる場合にはSTIR T2強調矢状断を撮影する。

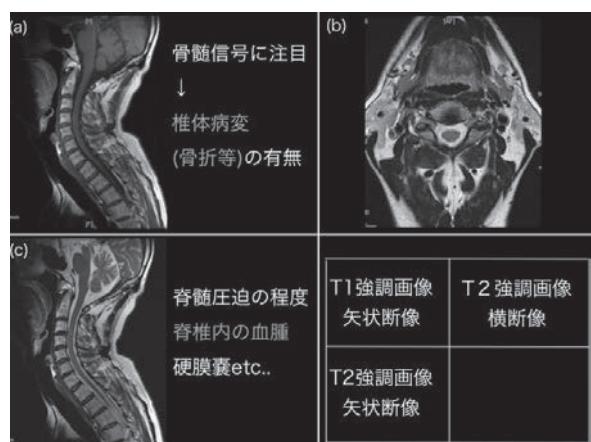


図5 頸椎MRI画像

- ・骨の中の骨髓信号に注目し、骨折などの椎体病変がない（図5a）。
- ・脊髓内に注目し、脊髓圧迫の程度や脊椎内の血腫、硬膜囊等がない（図5b、c）。

5 症例を用いた画像観察のポイント（頸椎）

〈症例1〉

82歳 男性 主訴：転落外傷

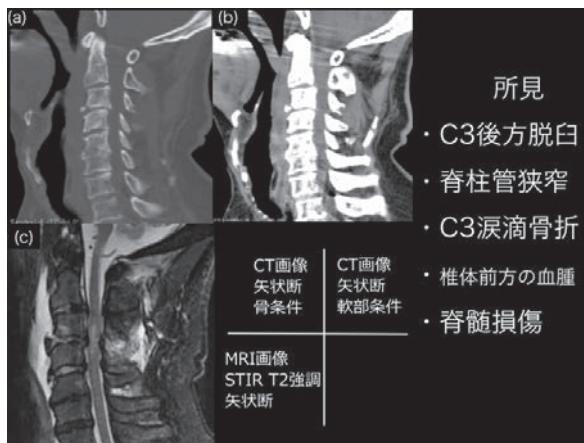


図6 症例1の画像所見

【症例1 画像観察のポイント】

①脊柱管狭窄

C3が後方に転位し、脊柱管狭窄の所見を示している。このような場合は脊髄損傷を合併することが多いため、検査時に見つけた時はベッド移動を特に注意して行うことが大切である（図6a）。

②軟部組織間距離の異常

椎体前方の軟部組織間距離がC3レベルで約12mmあり、正常距離の7mmを超えていている（図6b）。これは「血腫や液体貯留」が疑われる所見である。CT画像を観察するときはX線単純画像と同様に軟部組織の距離を必ず確認する。

③脊髄損傷

C3の後方脱臼によって「脊髄損傷」を疑う脊髄内の高信号が観察される（図6c）。

④Tear Drop骨折（涙滴骨折）

C3にはさらに椎体下縁の骨折があると考えられる。折れた骨片が図6aのように前方へ転位した形をTear Drop骨折という。

〈症例2〉

20歳 男性 主訴：交通外傷

【症例2 画像観察のポイント】

①環椎と軸椎の外側縁を結ぶ線のズレ

環椎と軸椎の外側を見ると、環椎と軸椎の外側縁を結ぶ点線が滑らかではなく環椎が外側に転位している（図7a）。

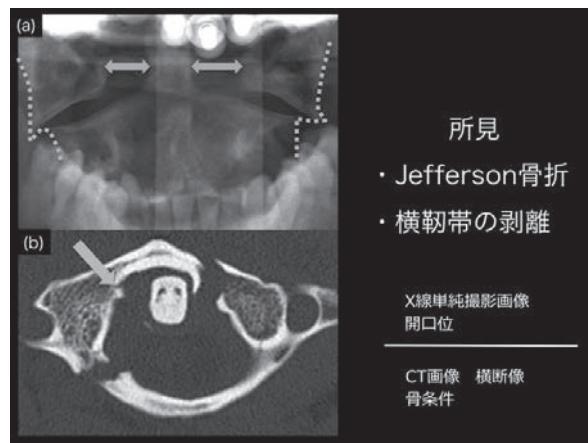


図7 症例2の画像所見

②歯突起と環椎内側縁との距離の広がりに伴って、歯突起と環椎内側縁との距離が広がっている（図7a：↔）。

この所見からは「環椎の骨折」が疑われる。

③Jefferson骨折

CT画像では前弓、後弓共に骨折が見られる。このような所見を呈する骨折を「Jefferson骨折」という。また、CT画像の矢印（➡）が示す部分に環椎から横韌帯の剥離が疑われる（図7b）。

これらは頭頂部を強くぶつけることで発生することが多い。頭部外傷に目を奪われがちだが、環椎にも異常がないか注意することはとても大切であると言える。

6 症例を用いた画像観察のポイント（胸腰椎）

〈症例3〉

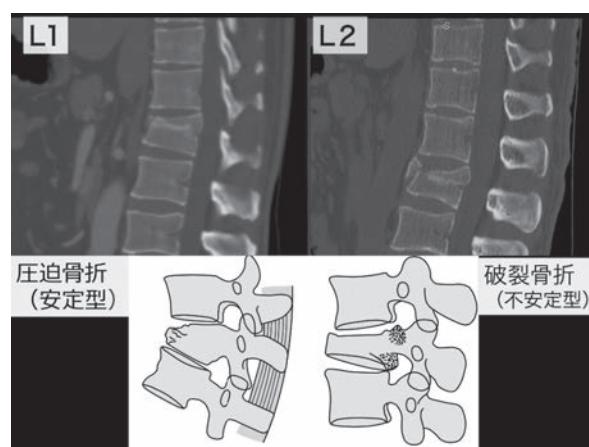


図8 圧迫骨折と破裂骨折

【画像観察のポイント】

①好発部位と脊柱3要素

図8左の画像ではL1に骨折があり、右の画像にはL2に骨折がある。左が圧迫骨折、右が破裂骨折のCT画像である。

胸腰椎外傷の好発部位はTh11～L2であり、本症例もこのレベルに所見がある。

胸腰椎の損傷では、脊椎を前・中・後の3要素 (Denisの脊椎3柱: 図9) に分けて考え、損傷部位により安定か不安定かを判断する。Denisの分類によると特に中央柱に外傷が及ぶものは不安定型としている。

②圧迫骨折と破裂骨折で緊急度が違う

圧迫骨折は前側の椎体のみが潰れて楔状に骨折する安定型の骨折 (例: 転んで尻もちをついた時など椎体前方に屈曲する力が働くことで起こる)。

破裂骨折は椎体前方と中央の部分にまで損傷が起こる不安定型の骨折である (例: 高いところから飛び降りた時など、体の長軸方向に力が加わることで起こる)。

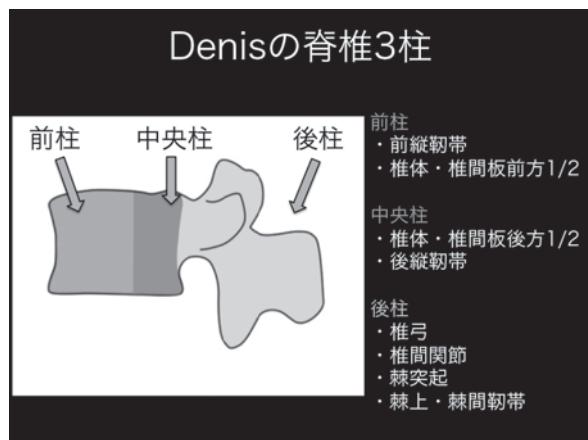


図9 圧迫骨折と破裂骨折Denis分類

〈症例4〉

18歳 女性 主訴: スポーツ外傷

側面画像ではTh12が楔型になり、棘突起間の開きを伴う水平骨折 (図10a: ▶) が見られる。正面画像ではTh12レベルで椎体の形状が上下と異なり、さらにTh12の棘突起が確認できない (図10b: ▶)。

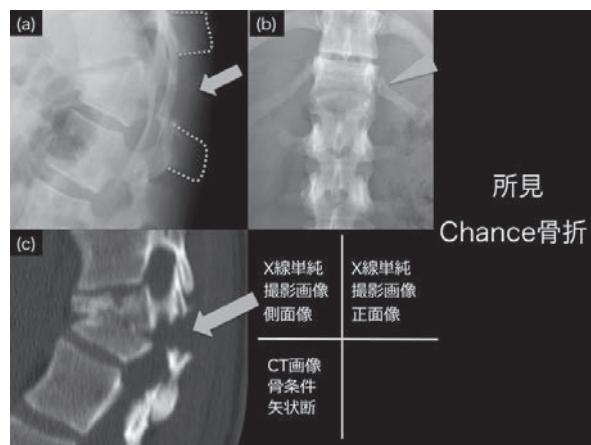


図10 症例4の画像所見

この症例は椎体の骨成分のみが水平に損傷した形であり、これを「Chance骨折」という。外傷時に体が前方に強く屈曲した際、脊椎には強い伸展力が働くことで起こる骨折である。

後方の靭帯や椎間関節に損傷がないために安定型とされている (図11: 右)。一方、椎間板や椎間関節、棘間靭帯に損傷があるものは不安定型であるため手術適応になる。これをシートベルトタイプ損傷という (図11: 左)。これはシートベルトをつけた状態でベルトを支点に強く体がくの字に屈曲して起こることからこの名前で呼ばれている。

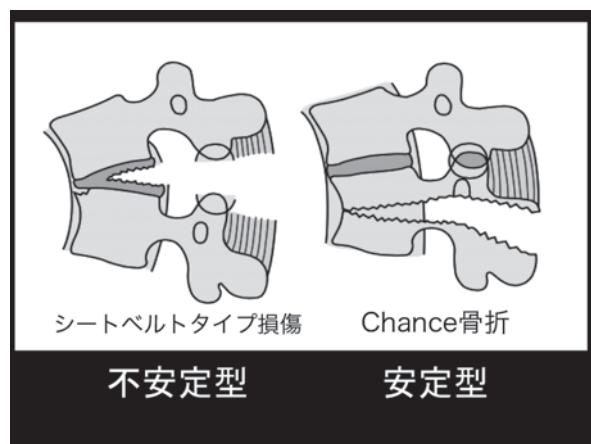


図11 シートベルトタイプ損傷とChance骨折

7

撮影・再構成・画像をみる時の注意点

①CT撮影時も腕を引いて！



図12 CT撮影時も腕を引いて！

頸椎撮影時、下部の頸椎は図12のように肩のアーチファクトで上位の頸椎と比べ、椎体辺縁や脊髓の観察が難しくなっている。単純撮影と同様にCTの撮影の時にも肩の力を抜いて下げてもらうことが大切である。

②軟部条件・肺や条件も確認する！

外傷では骨条件の他に鈍的外傷を合併している可能性がある場合があるため、軟部条件で気道切迫や出血、血腫の確認、肺野条件で見える範囲で気胸の有無を確認する。

③CT再構成の矢状断は横突起まで！

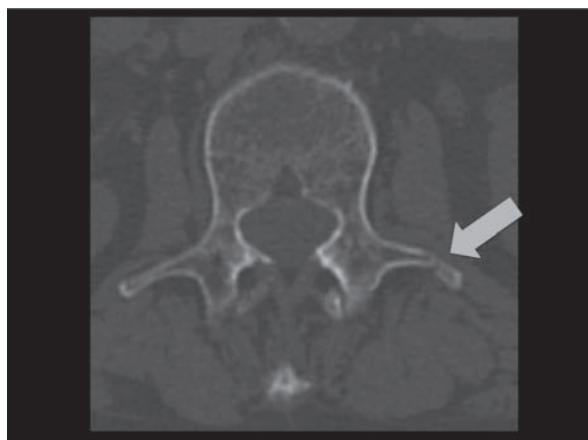


図13 横突起骨折

転倒などの外傷には横突起の骨折を伴うことがあるため、横突起までしっかり範囲に含めて観察する（例；図13：➡）。

④骨条件以外の観察も大切

～ウィンドウ幅/ウィンドウレベル～

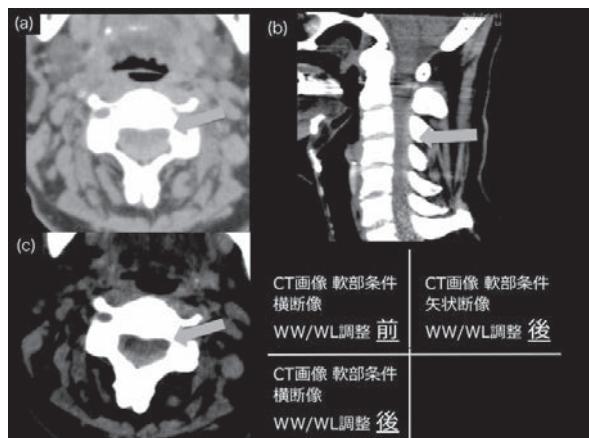


図14 硬膜外血腫

脊柱管内の血腫は骨外傷と比べると頻度は高くないが、検査をする際には疑いの目を持ち、ウィンドウ幅/ウィンドウレベルを調節する癖をつけておくことが大切である（図14）。

8 結語

脊椎外傷は、交通外傷で起こるものから転倒等の軽度な外傷までさまざまなシチュエーションで起こる。その中には緊急性が高いもののが存在することを意識した上で検査を行うことが大切である。また、撮影した画像をみるときに基本的なポイントを押さえておくことで、撮影する立場として工夫できるところがあると考える。

参考文献

- ・日本脊髄障害医学雑誌 Vol.18 2005 (H17)
- ・救急撮影ガイドライン救急撮影技師標準テキスト
- ・福田国彦、丸毛啓史、小川武希 編著：骨折の画像診断 羊土社
- ・井田正博、高木亮、藤田安彦 編著：すぐ役立つ救急のCT・MRI 秀潤社

骨軟部撮影セミナー2018に参加して

JR東京総合病院 永野仁士

骨軟部撮影セミナー2018が2018年2月17日（土）に済生会川口総合病院 講堂にて開催されました。「更なるスキルアップを目指して」というテーマで、一般演題が6演題、メーカーセッションが3演題、小児撮影セッションが2演題、DRセッションが2演題、MRIセッションが2演題、そして教育講演と特別講演が1演題ずつという内容でした。

この勉強会は昨年度からTART・SART合同で開催されています。職場の後輩と初めて参加しましたが、会場は多くの参加者で満杯でした。この勉強会の注目度が高いことが分かります。

各セッションの発表では、物理特性の評価方法や各施設での撮影法、そして患者さまの安全な移乗方法など非常に幅広い内容を学ぶことができました。

春日部市立医療センターの工藤年男先生には、「良肢位を考慮した肩関節撮影」というテーマで教育講演をしていただきました。翌日からの業務に活かせるコツやポイント、そして常に各疾患の診断・治療

方法を意識した撮影を心掛けることの必要性について詳しく話していただきました。

特別講演では、済生会川口総合病院の坂井顕一郎先生に「脊椎専門医からみた画像検査の役割」というテーマで、脊椎病変に対する各治療法や最新の治療法について大変分かりやすく教えていただきました。われわれが提供する画像の意義・必要性・診断基準となるポイント等を再確認することができ、大変貴重な講演を聞くことができました。

今回の勉強会を通じて、いかに技術を臨床に還元させるかが重要であると、あらためて実感することができました。ぜひ次回も骨軟部撮影セミナーに参加しようと思っています。

最後になりましたが、ご講演いただいた各先生方ならびに企画・運営してくださったTART・SARTの皆さん、ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。



骨軟部撮影セミナー2018に参加して

JR東京総合病院 吉野友梨絵

今回、2018年2月17日に済生会川口総合病院で開催された、TART・SART支部合同勉強会に参加しました。骨軟部撮影セミナーということで、一般撮影はもちろんのことMRIや小児撮影、そしてDRについてと、多岐にわたる内容を聞くことができました。朝から夕方までと長時間にわたる勉強会ではありましたが、それだけ内容も濃く、質疑応答も盛り上がりを見せ、参加者がとても積極的な勉強会がありました。

教育講演をいただいた工藤年男先生のお話の中でも指摘があったように、一般撮影のセッションでは画像の臨床的意義や、医師の求める情報を提供するための工夫など、臨床に直結する内容が多く、診療放射線技師のるべき姿を改めて認識することができました。

済生会川口総合病院の坂井顕一郎先生の脊椎の画像診断に関する特別講演では、実際の手術の方法から画像計測のポイントまで撮影時に意識すべき点などを知ることができました。普段、依頼医に直接話を聞く機会は多くないため、とても有意義な時間となりました。

今は新人として臨床知識を含めすべてを吸収している段階ですが、今後は医師の要望に対し、新たな撮影方法などを提案、提供ができるような診療放射線技師を目指したいと感じました。

最後に今回の勉強会を企画・運営していただいたTART・SART支部の皆さま、各セッション・講演をしていただいた先生方、そして会場を提供してくださった済生会川口総合病院の皆さまに感謝申し上げます。

お詫びと訂正

平成30年度第2回理事会(平成30年5月2日開催)決議により、総会議案が変更となりました。つきましては「東京放射線」2018年5月号掲載の総会資料(P43、45、56)を下記の通り訂正させていただきます。

誤

43ページ 第 <u>3</u> 号議案：平成30・31年度役員選挙	⇒ 第 <u>5</u> 号議案：平成30・31年度役員選挙
45ページ 報 <u>告</u> ：平成30年度事業計画	⇒ 第 <u>3</u> 号議案：平成30年度事業計画(案)
56ページ 報 <u>告</u> ：平成30年度予算	⇒ 第 <u>4</u> 号議案：平成30年度予算(案)

正

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

編集委員会

第6地区meetingに参加して

中央医療技術専門学校 昼間部 長谷川和哉

今回、グループ研究の研究テーマである「東京都内のオリンピック主要鉄道における環境放射線量の測定」の中間報告をさせていただきました。中間報告ではありましたが、進捗状況をまとめ、スライドや台本を作成し練習する過程でも、グループ全員で話し合うことができたことを嬉しく思います。台本も、実際に声に出すことで、この単語は発表者である自分が話しやすいか、こういった言い回しは聞き手に伝わりやすいだろうか、など発表直前まで考えて、最終的に会場にいらっしゃる方々の雰囲気をみて変更したところも何点かありました。実際の発表では、同じ研究会メンバーにスライドの進行をしてもらっていたので、私は緊張せずに発表することができました。この時点では、発表内容は台本に頼っていたので、会場全体に目を向けることがあまりできませんでした。次回は、発表内容は頭に入れて、

しっかり会場にいらっしゃる方々の反応を見ながら話せるようにしたいです。それに追加して、レーザーポインタを使っての説明も、合わせて行えたらより良くなると感じました。

質疑応答では、難しい内容の質問もありましたが、研究会メンバーと話し合ってきた内容を思い出して、今回的方法に沿って答えることができました。約15分の発表でしたが、これまで研究会メンバーで進めてきた内容を、人の目に触れさせることができ本当に嬉しく思いました。

最後になりましたが、このような貴重な機会を設けていただきありがとうございました。これからが研究の本番になるので、今回の貴重な経験から学んだことを活かして、秋季以降の学会発表に向けて進めていきます。

中央医療技術専門学校 昼間部 大塚竜登

今回の第6地区meetingは「運動器の超音波検査」ということで、学校で普段から超音波検査の実習をする部活に所属している一員として、前々からとても楽しみにしていました。

関節がエコーで見えることは知っていましたが、筋肉や腱、神経などの画像解剖が難しく、なかなか取つ付き難い印象がありました。しかし、吉田先生が基本の解剖のお話から、検査法の実演や適応例な

どをお話しください、もっと知りたい、早くやつてみたいと思うようになりました。

たった500円でとても貴重なお話を聞くことができ、会場からも質問がたくさん飛び交うこの第6地区meetingは学生ながら毎年楽しませていただいている。企画運営の皆さまにはこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。このような大変貴重な機会を与えてくださいありがとうございました。



中央医療技術専門学校 昼間部 田村直実

平成30年3月3日に開催された第6地区meetingに参加させていただきました。開催会場である中央医療技術専門学校の学生の研究活動報告、同学校講師の菅先生と苑田第三病院の吉田先生による超音波検査についてご講演いただく内容でした。

学生の研究活動報告は過去に行われた鉄道の放射線線量測定値との比較を計画しているものでした。過去のデータと比較し結果予想も行われていて非常に興味深い内容でした。今後も調査結果報告を是非傾聴していきたいと思います。

超音波検査の講演では、まずは菅先生に超音波の基礎を講演していただきました。今回の勉強会では診療放射線技師の方々のみでなく、学生も多数参加

していたので、初心者から上級者まで伝わるように分かりやすく噛み砕いていただいた内容で学生生活の中で超音波に携わっていた私も大変良い復習となりました。続いて実演を交えた運動器超音波を吉田先生に講演していただきました。運動器超音波を行う施設は多くはありませんが、X線やMRI検査と異なり一人の患者さんに要する時間が短時間で済むため検査効率も向上するので、これから更に普及していくのではないかと考えました。

春から勤めさせていただく施設では診療放射線技師は超音波検査を行っていませんが、他部署と連携を取り、今回の勉強会で学んだことを生かしていきたいと思います。



平成29年度第6地区meetingを終えて

この度は、お忙しい中、第6地区meetingにご参加を賜り、誠にありがとうございました。僅かなりとも皆さまのお役に立てましたら幸いと存じます。当地区は小規模施設の割合が高く、ハード面・ソフト面で充実しているとは言い難い環境で活動している診療放射線技師が多く存在します。そういう新しい技術への意欲を反映しにくい環境を打開するためはどうしたらいいのか、私自身も非常に悩みながら働いています。今回ご講演頂いた吉田先生は何もないところから運動器超音波検査を1人で始められ、自施設で確固たるものを作り出されています。講演を拝聴

している中にも並々ならぬパッションを感じました。そして、参加した学生20名のほとんどが情報交換会に出席し、参加技師のテーブルに各々ついて大いに語っていた光景からも、目で見たもの以外の何かを感じ取れたのだと思います。彼らのパッションを活かせる地域にするべく、そして今後も皆さまの第一歩をお手伝いできるような研修会を企画していくならと思います。

末筆ながら、重ねて研修会ご参加のお礼を申し上げますとともに、末永いお付き合いのほどお願い申し上げます。 第6地区委員長 高橋克行

第76回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して

東邦大学医療センター大橋病院 三平悠莉

来年度、勤務先のマンモグラフィ装置の入れ替えに伴い、新しく乳腺トモシンセシス（DBT）による診療を始めることになり、勉強のために参加させていただきました。

普段、トモシンセシスの画像に触れる機会がありませんので、断層撮影の基礎から丁寧に説明していただけて大変理解しやすく勉強になりました。実際に乳腺トモシンセシスと2DMMGを比較して見てみると、DBTでは乳腺組織の重なりが避けられるため、2DMMGよりも病変の位置や形が格段に分かりやすくなることを実感できました。

同程度の被ばくでより多くの情報を得られるDBTは非常に診断に有用であるように思いますが、現状ではDBTのみでの確定診断は行えず、2DMMGと併用して行うことになっているそうです。その理由

の1つとして、腫瘍における診断能は向上しますが、石灰化については全体の分布を評価することは困難であるという問題点があります。そこで、DBT元画像より、2DMMGを再構成することで、1度の撮影でDBTと2DMMGの両方が得られれば、患者さんの負担を減らし、被ばくも最低限に抑えることができます。DBTは従来の2DMMGよりも圧迫時間が長くなり、患者さんの負担にもなり得ますので、患者さんに納得していただいてから検査に協力していただけたうえ、丁寧な説明や声掛け、気配りが大切だと最後に先生が仰っていました。このような接遇の心がけは、マンモグラフィに限らず、患者さんに接する上で1番大切なことだと思いますので、すぐに実践していきたいと思います。貴重な講演をありがとうございました。

第76回日暮里塾ワンコインセミナーを受講して

杏林大学保健学部診療放射線技術学科 田辺未来

臨床実習中に、マンモグラフィの2D撮影とトモシンセシスでの撮影を見学させていただく機会がありました。私の中でのトモシンセシスへの印象は断層で撮影することができ、2Dの画像よりも観察がしやすいということと、乳房を圧迫している時間が長いため患者さんがより辛そうであるという大まかなものでした。

今回のセミナーでは基礎となる断層撮影の原理について、図を用いて細かく説明してくださっていたためしっかりと理解することができました。X線管の振角の大きさによる断層厚と、撮影軌道を変えることによって障害陰影の発生を抑えることが、断層

撮影において大切であるということが分かりました。

臨床画像ではトモシンセシスの原画像から、合成した2D画像と3D画像における石灰化の分布がとても分かりやすく驚きました。患者さんへの被ばくや負担を少なくするためにも、これらの技術が一般化されると良いと思いました。

今回セミナーに参加したことによって、マンモグラフィやトモシンセシスについて勉強したいという気持ちが強くなりました。これからも新しい技術が出てくると思いますが、しっかりと勉強していきたいと思いました。またこのようなセミナーがあったらぜひ参加したいです。

平成29年度SR推進委員会（公益・災害）研修会に参加して

武藏野徳洲会病院 原 基壱

今回、SR推進委員会（公益・災害）が主催している、緊急被ばく医療に関する研修会に参加させていただきました。「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させない～」というテーマで、原子力災害時の医療についての講義とサーベイメータに関する講義および実習を体験することができました。

最初の講義では、過去に起きた原子力災害を通してどのような緊急医療被ばくの医療体制が取られてきたのか、原子力災害対策特別措置法（原災法）第10条や第15条とはどのようなものなのか詳しく説明していただきました。現在に至るまでに少しづつ改善されているものの、これからも改善が必要な点、災害時にはまだまだ人員不足になるというお話を伺いました。講師の方々は、実際に福島や熊本の震災時をD-MATや災害派遣として経験された方で、現場の生の声を聞くことができ大変有意義な講義でした。また、サーベイメータの実習では計測器それぞれの特性とサーベイの方法について学びました。一見簡単そうに見えるサーベイですが、サーベイメータの正しい持ち方や測定箇所との距離感など注意しなければいけない点がたくさんあります。そして何より被災者への気遣いが最も重要になります。検出器に表示される指示値が相手に見えないように気を付けたり、汚染が見つかっても不安にさせないように反応してはいけないなど、被災者に対する接遇や配慮すべき点が多々あることが特に勉強になりました。

今回の研修会で学んだ経験を今後生かしていくためには、定期的にこのような研修会に参加する必要があると感じました。また、今回の講義を聞いてサーベイメータを正しく使用できる技師はまだまだ少ないと知り、育成が必要であると感じました。東日本大震災が起きた時、私はまだ学生でなにもできませんでした。しかし、今は何かしらの力になれるのではないかと思っています。これからは災害医療に対して積極的に取り組み、参加していきたいと思います。

最後になりますが、このような貴重な機会を設けてくださったSR推進委員会の皆さんに感謝申し上げます。



下町撮影技術検討会

“ あつたるいひな ”

日常業務の中で、実は様々な場面で「こんな時どうするの」「何かいい方法はないかな」でも身近に聞ける人がいない。こんな思いしたことありませんか？この会で一緒に意見交換しながら解決策を探りましょう。

代表司会人：東京さくら病院 放射線科 柳原 淑幸

第30回記念大会

『Self Update

～診療放射線技師のこれからの役割とは～』

記念講演 1

『CT領域での診療放射線技師のなすべきこと』

順天堂大学医学部附属順天堂医院 放射線部 副技師長 木暮 陽介 先生

記念講演 2

『一般撮影領域での診療放射線技師のなすべきこと』

市立甲府病院 放射線室 技師長 中島 正弘 先生

2018年6月9日(土)
16:00～(受付開始15:30)

参加費 500円

第一三共株式会社
日本橋ビル 3階会議室
東京都中央区日本橋3-14-10

事前登録された方のみ軽食をご用意しております。
事前登録、詳細はHPよりお願い致します。

下町撮影技術検討会 HPアドレス <http://shitamachisugi.web.fc2.com/index.html>

Pipe line

パイプライン

中央医療技術専門学校卒業生の皆さんへ

第35回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会のご案内

日 時：平成30年6月30日（土） 14:30～19:30

会 場：中央医療技術専門学校3号館 視聴覚教室
葛飾区立石3-5-12

参 加 費：総会・学会参加費 無料

※ 同窓生はどなたでも参加できます。
多数の参加をお待ちしております。

～プログラム～

1. 同窓会総会

2. 学術発表会

3. 懇親会

Canon



Vantage Galan™ 3T

認証番号: 228ADBZX00066000

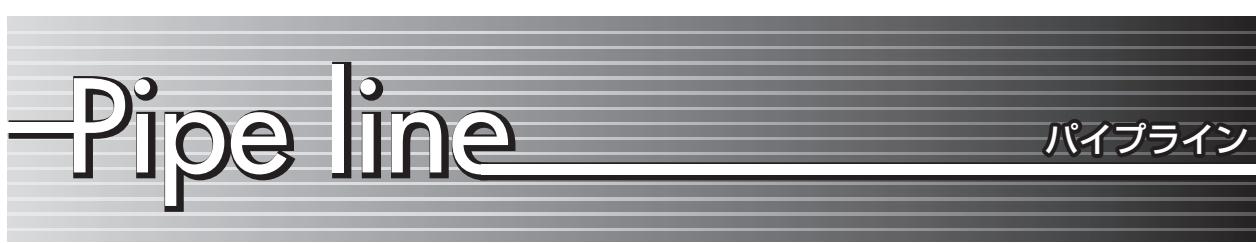
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

東芝メディカルシステムズ株式会社は、2018年1月に「キヤノンメディカルシステムズ株式会社」へ社名変更いたしました。

画力、速力、究めて。
魅せるMRI
Vantage Galan 3T

テーマは、「究」「匠」「和」。
「究の質」を追求した先鋭の高画質。
新技術PURRFによりSNRが20%
向上、高精細な画像を可能にします。
さらに、撮像から解析までをアシ
ストする豊富なアプリケーション
は、臨床の世界を広げます。
省エネ・省スペースを叶えた
「匠の技」。
広い開口部と静音化技術により、
患者さんがリラックスして検査を
受けられる「和の空間」。
日本の技術の粹と心を尽くした
3テスラMRIの世界が現れます。

Made For life



平成30年度 第1回関東Angio研究会 第5回血管撮影教育セミナー（撮影技術の基礎）

日本放射線技術学会関東支部
関東Angio研究会

関東Angio研究会主催の「第5回血管撮影教育セミナー」を平成30年6月24日（日）に開催します。

関東Angio研究会は5周年を迎え、初年度より血管撮影に携わるカテーテルスタッフの育成として、IVR技術の多様化や専門化に伴う高度な知識の学習だけではなく、これらを学ぶ上で欠くことのできない基礎教育も必要と考え、発足時から毎年本セミナーを開催しております。今回は初めて、現在臨床では欠かせないコーンビームCTを講義として企画しました。皆さまの施設での育成プログラムの一助として、これから血管撮影検査・IVRを担う人材に必要な基礎知識を集中的に学び習得していただくことを目的としています。

血管撮影室に今後配属予定の会員、従事して間もない会員から専従の会員まで、多くの皆さまに参加いただけますようご案内します。

なお、本講習会に参加された方には、各種専門技師認定機構の認定のための単位が取得できます。

日 時：平成30年6月24日（日）10:00～16:30（9:30受付開始）
会 場：NTT東日本関東病院 4階 カンファレンスルーム
〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22 TEL 03-3448-6111
[交通アクセス] JR山手線「五反田」駅下車 徒歩7分
都営地下鉄浅草線「五反田」駅下車 徒歩5分

詳細は <http://www.ntt-east.co.jp/kmc/access/index.html> をご覧ください。

テ 一 マ：第5回血管撮影教育セミナー（撮影技術の基礎）

募集定員：100名

参 加 費：日本放射線技術学会 会員3,000円 非会員5,000円

申込開始：平成30年5月14日（月）～（先着順、定員になり次第募集終了とします）

申込方法：関東Angio研究会ホームページ (<http://jsrt-kanto.org/category/angio/>) よりお申し込みください。

プログラム：（予定）

10:00～10:05	開会式	関東Angio研究会 代表	加藤 英幸
10:05～10:55	血管撮影に必要な情報収集と接遇	栃木県済生会宇都宮病院	大築 慎一
11:00～12:00	頭頸部領域の撮影技術とIVR	老年病研究所附属病院	高橋 康之
12:15～12:45	ランチョンセミナー	協賛：キヤノンメディカルシステムズ株式会社	
12:45～13:10	休憩		
13:10～14:00	コーンビームCTの撮影技術の基礎	横浜新都市脳神経外科病院	齋藤 誠
14:10～15:10	腹部領域の撮影技術とIVR	信州大学医学部附属病院	宮川 潤
15:20～16:20	骨盤・下肢領域の撮影技術とIVR	筑波メディカルセンター病院	石橋 智通
16:20～16:30	閉会式		

その他の詳細は、関東支部ホームページ (<http://jsrt-kanto.org/>) でご確認ください。

問い合わせ先：信州大学医学部附属病院 放射線部 宮川潤

E-mail : jmiya@shinshu-u.ac.jp

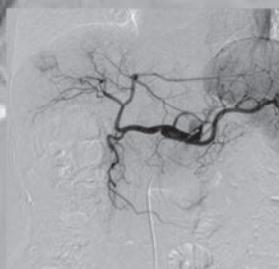
後援：茨城Angio研究会、茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会、神奈川アンギオ撮影研究会、神奈川カテリ室コメディカル研究会、埼玉心血管コメディカル研究会、循環器画像技術研究会、千葉アンギオ技術研究会、千葉メディカルスタッフ研究会、栃木県カテーテル室スタッフ研究会（五十音順）

第5回 血管撮影教育セミナー ～撮影技術の基礎～



初企画！
CBCT

わかりやすく
解説します。



情報収集・接遇も！

募集開始：平成30年5月14日(月)～ 先着100名

開催日時：平成30年6月24日(日曜日) 10:00～16:30

開催会場：NTT 東日本関東病院 4階 カンファレンスルーム

受講費：JSRT 会員 3,000円／非会員 5,000円

申込方法：関東Angio 研究会ホームページから

<http://jsrt-kanto.org/category/angio/>

日本放射線技術学会関東支部 関東Angio 研究会

PATIENT
INFOR
TEC
COMMUNIC
PICTUR
SEARCH
GONI
ART
INFRASTRUCTURE

市民公開講座
いのちの落語講演
生きる希望と勇気を笑顔で伝える
いのちの落語家樋口強氏
大会シンポジウム
頭頸部をうまく撮ろう!
モダリティの限界を知り未来への挑戦!

新潟開催

大会長 笠原敏文

一般社団法人 新潟県診療放射線技師会会長

主催

公益社団法人 日本診療放射線技師会
一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会
一般社団法人 群馬県診療放射線技師会
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人 千葉県診療放射線技師会
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県放射線技師会
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会
一般社団法人 長野県診療放射線技師会

実施

一般社団法人 新潟県診療放射線技師会

平成30年度

関東甲信越診療放射線技師学術大会

多様な視点でつなぐ放射線診療の未来
—トキは来たり、今こそ新潟からばたこう—

開催日
平成30年
6/30 土 ~ 7/1 日

演題募集
平成30年2月1日~3月15日

事前参加登録
平成30年3月10日~5月31日
公益社団法人
日本診療放射線技師会

開催日時

平成30年6月30日(土)10:00~
平成30年7月1日(日)13:00

開催場所

朱鷺メッセ
:新潟コンベンションセンター
新潟駅より 歩 20分 車 5分

参加費

事前登録	
会員	3,000円
非会員	7,000円
当日登録	
会員	5,000円
非会員	7,000円

情報交換会

事前登録 5,000円
当日登録 7,000円
※会員・非会員同じ

問い合わせ先／新潟県診療放射線技師会
演題募集・事前参加登録はwebページから



h30niigata@niart.jp



<https://www.h30niigatart.com>

【市民公開講座】

いのちの落語講演

－生きる希望と勇気を笑顔で伝える



いのちの落語家 樋口強氏

- 企業人として東レ(株)で新規事業立ち上げの最前線にいた1996年、43歳のとき、悪性度が高く生存率が極めて低いと言われている肺小細胞がんに出会う。
- 手術と抗がん剤治療で乗り越えたが、抗がん剤の後遺症である全身の感覚神経麻痺は今でも続いている。日常生活に不自由はあるものの、家庭での毎日のリハビリで「普通のことが普通にできる喜び」がいのちを支えってくれている。
- 年に一度、東京・深川で開催する「いのちの落語独演会(旧称「いのちに感謝の独演会」)は、全国のがんの人と家族を無料で招待し、2016年9月には第16回目を開催した。「笑いは最高の抗がん剤」として、東京・深川江戸資料館の高座にかかる涙と笑いの『いのちの落語』が大きな反響を呼び、毎年たくさんのがんの仲間と家族が全国から駆けつける。
- NHKテレビ「ニュースウォッチ9」・「生活ほっとモーニング」・「こころの時代」、「NHKスペシャル－働き盛りのがん」、フジテレビ「バイキング」「アンビリバボー」、テレビ朝日「テレメンタリー」、テレビ東京「生きるを伝える」、読売新聞看板コラム「医療ルネサンス」他多数のメディアがその生き様を取り上げ、全国からたくさんの共感と感動の反響が届く。また2014年には日本経済新聞大型コラム「文化」欄に「がんを越え落語に生きる」を執筆掲載し高い評価を得た。
- 現在は執筆活動と同時に、「笑いは最高の抗がん剤」、「生き方は自分が決める」、「普通のことが普通にできる喜び」、「生きてるだけで金メダル」などをテーマに全国で「いのちの落語講演会」を開催している。2007年10月にはイタリア・ミラノで「いのちの落語 in milan」公演を成功させ、その活動は海外にまで広がっている。
- 2011年 市民に感動を与える社会貢献活動により「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。

◇樋口強 いのちの落語家・作家・「いのちの落語独演会」主宰 1952年生まれ

共催:旭会(新潟大学医学部保健学科放射線技術科学専攻同窓会)

平成30年6月30日(土)14:10～15:10

朱鷺メッセ スノーホール 入場無料

大会シンポジウム 頭頸部をうまく撮ろう！ —モダリティの限界を知り未来への挑戦—

頭頸部を通して各モダリティの良いところ、悪いところを広く認識してもらい、現状考えられている解決策を提示し、未来への挑戦を考えていきます。モダリティはCT.MR.RI.AG.RTの5部門です。

南関東FRT第4回研修会

南関東地域女性技師の会
【南関東FRT (Female of Radiological Technologist)】です。
女性だけでなく男性技師も参加OKです。
地域を超えて広く楽しく情報交換いたしましょう。

日 時：平成30年8月25日（土） 15:00～18:00
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
参加費：会員500円 非会員1000円

15:15～15:45

『マンモグラフィのポジショニングの再確認

～産休・育休明けの人も必見～』

東京都がん検診センター放射線科主任技術員 高嶋優子先生

15:45～16:30

『若年がん患者のがん・生殖医療と心理支援』

亀田メディカルセンター 臨床心理室

臨床心理士・生殖心理カウンセラーがん・生殖医療専門心理士
奈良和子先生

16:30～17:15

『患者さまや同僚にも使えるコミュニケーションツールの活用』

拓殖大学商学部教授 長尾素子先生

17:30～18:00

全体討議：ママさん技師に優しい職場環境づくり

参加希望を記載の上、7月31日までに
下記へお申し込みください。（定員80名）

お申し込み：tanpopo_frt@live.jp



主催：（公社）日本診療放射線技師会（公社）東京都診療放射線技師会
（公社）神奈川県放射線技師会（一社）山梨県診療放射線技師会
（一社）長野県診療放射線技師会（一社）千葉県診療放射線技師会

会員動向

平成30年度4月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成29年度末集計	2,163	180	24	18	100
平成30年 4月	2,165	7	3	5	3

追 悼

4月25日にご逝去されました東京都診療放射線技師会第九代会長・本会名誉会員・顧問、岩田拓治先生を偲び、ここに慎んでお別れのごあいさつを申し上げます。

岩田先生は、本会において昭和51年から昭和59年まで副会長、昭和60年から平成2年まで会長を務められました。昭和59年というのは、われわれの職能の身分法がそれまでの「診療放射線技師および診療エックス線技師法」から現在の「診療放射線技師法」に名称一本化された年であります。その後の業務拡大ほか、数々の法改正につながったのは、この時期の岩田先生をはじめとする諸先達のご努力があったからこそのことであります。

総会、新春のつどい、各種式典等においての岩田先生のお言葉は、失礼ながら御年を感じさせない常に時流に的確で鋭いものでした。

また、私の前任の中澤靖夫会長時代に、駅前再開発による事務所移転・増床ということがあり広く寄付を募ったところ、岩田先生は誰よりも高額かつ誰よりも早くご寄進くださいました。お礼を申し上げても、ただ笑っておられました。闊達なお振舞にはいつも尊敬の念を抱いておりました。

まだまだご指導いただいたかったことも、ご恩返ししたかったこともあります。それが叶わなくなったことは痛恨の極みであります。

心よりご冥福をお祈りいたします。

ありがとうございました。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会会長 篠原健一



News

6月号

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：2名

会長挨拶（代理：白木副会長）

本日、会長の身内にご不幸があり急遽欠席となったため、代理で挨拶をさせていただく。平成30年度の第1回の理事会となる。事業については年度で動いているが、理事に関しては総会からの任期となる。地区委員長は4月からの任期となり、4名の方が新しく地区委員長になられた。今年度の定期総会が5月に開催される。初めての代議員総会ということで、執行部と選挙管理委員会が開催に向けて準備を進めている。翌週には日本診療放射線技師会の定時総会が開催される。こちらも代議員総会なので、東京都診療放射線技師会からも代議員を選出して出席する予定である。6月30日（土）・7月1日（日）には関東甲信越診療放射線技師学術大会が新潟で開催され、そこで次年度の東京開催のプレゼンを行う予定である。新年度も新しく就任された地区委員長と一緒に事業を進めていきたい。

報告事項

- 1) 会長（代理：白木副会長）
 - ・各診療放射線技師学校の卒業式に出席した。
 - ・3月16日（金）～18日（日）にSRTA学術大会に参加し

日 時：平成30年4月5日（木）
午後6時45分～午後7時45分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所
出席理事：白木 尚、石田秀樹、野口幸作、市川重司、
江田哲男、長谷川雅一、鈴木雄一、安宅里美、
竹安直行、平瀬繁男、高橋克行、市川篤志、
崎浜秀幸、原子 満、工藤年男、高野修彰、
関 真一、齊藤謙一
出席監事：野田扇三郎、葛西一隆
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、関谷 薫（第2地区委員長）、目黒一浩（第4地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、三富 明（第8地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、鮎川幸司（第13地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、新川翔太（総務委員）、河内康志（総務委員）
欠席理事：篠原健一、浅沼雅康
議 長：白木 尚（副会長）
司 会：石田秀樹（副会長）
議事録作成：河内康志
議事録署名：出席理事、監事全員

た。また、東京都診療放射線技師会から関係理事も参加した。また、インターナショナルセッションで本会から派遣した演題発表の渡邊氏が学術賞を受賞した。

・3月31日（土）の新役員研修会では、専門部理事に協力いただき、新役員の方々に実りのある研修会となった。今後も2年ごとに開催したいと考えている。
・その他、活動報告書に追加なし。

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木理事

・活動報告書に追加なし。

経理：関理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：野口理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし。

5) 支部・地区委員会

・第3地区委員会より、3月19日（月）に地区委員会を開催した。

・その他、活動報告書に追加なし。

6) 特別委員会等

・活動報告書に追加なし。

7) その他・研修センター申請・事業報告

- ・選挙管理委員会より4月3日(火)に選挙管理委員会を開催した。
- ・会誌告示通り、役員の公募を締め切った。理事、監事ともに定数内であった。また、篠原会長は、来期の会長候補として立候補しているので、総会で信任投票となる。(代理報告:野口庶務委員長)
- ・東京開催の関東甲信越学術大会用のポスター作成を進めている。次回の理事会で承認いただき新潟でチラシ配布ができるとを考えている。また、新潟開催後には実行委員会を立ち上げて、具体的に進めていく。(白木実行委員長)
- ・篠原会長のお身内の訃報に対してお花と弔電を送りました。(白木副会長)
- ・その他、活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請について

①ピンクリボンウォーク 2018

テーマ:都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

日 時:平成30年4月15日(日)9時00分~14時00分

場 所:お台場シンボルプロムナード公園

上記開催について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

②看護フェスタ 2018

テーマ:都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

日 時:平成30年5月12日(土)12時00分~16時00分

場 所:新宿駅西口イベントコーナー

上記開催について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

③平成30年度業務拡大に伴う統一講習会(南関東・東京)

テーマ:平成30年度業務拡大に伴う統一講習会(南関東・東京)

日 時:平成30年5月19日(土)8時50分~17時10分

平成30年5月20日(日)8時30分~17時30分

場 所:東京都診療放射線技師会研修センター

日 時:平成30年7月15日(日)8時50分~17時10分

平成30年7月16日(祝)8時30分~17時30分

場 所:東京都診療放射線技師会研修センター

日 時:平成30年9月8日(土) 8時50分~17時10分

平成30年9月9日(日) 8時30分~17時30分

場 所:首都大学東京

日 時:平成30年11月17日(土) 8時50分~17時10分

平成30年11月18日(日) 8時30分~17時30分

場 所:三鷹産業プラザ

日 時:平成31年1月26日(土) 8時50分~17時10分

平成31年1月27日(日) 8時30分~17時30分

場 所:東京都診療放射線技師会研修センター

日 時:平成31年3月2日(土) 8時50分~17時10分

平成31年3月3日(日) 8時30分~17時30分

場 所:未定

上記開催について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

2) 委員の新任・変更・退任について

年度始めで新任・変更・退任の方の人数が多いため、各委員会より報告いただいた通りで、一括承認をお願いしたい。詳細は事前に配布した資料参照をお願いしたい。上記、新任・変更・退任について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

3) 平成29年度事業報告総括案について

会長代理(白木副会長)が平成29年度事業報告総括案)を読み上げ、承認をお願いした。

上記、平成29年度事業報告総括案について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

4) 総会表彰者について

小野賞6名、功労賞(20年勤続)13名、学術奨励賞1名、および新人奨励賞3名を表彰委員会および学術委員会より推薦した。総会表彰者として承認をお願いしたい。

上記、総会表彰者について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

5) 東京都臨床工学技士会第26回都民公開講座後援名義使用申請について

6月3日(日)に開催される「第26回都民公開講座」の後援名義使用の依頼があった。

後援名義使用について審議をお願いしたい。

上記、後援名義使用について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

6) 新入退会について

3月:新入会 1名、転入4名、転出3名、退会37名、

滞納退会28名

上記、新入退会について審議した。

【承認:18名、保留:0名、否認:0名】

地区質問、意見

【第2地区】

関谷地区委員長:若い地区委員より、小野賞の「小野」

の名前の由来が分からぬとの意見があった。技師会誌などで、小野賞とは?と、掲載してご教示いただくことは可能か。

白木副会長：6月号の会誌「巻頭言」に掲載予定だが、少し先になってしまふので簡単に説明すると、東京都放射線技師会が発足した当時、理事会を開催する場所として千代田メディカルの事務所を提供していただいた。当時の社長が小野社長で東京都放射線技師会の発展にご協力をいただいたことから小野賞ができた。

【第11地区】

千葉地区委員長：統一講習会に関する検査官の指導について、平成29年度の立入検査の際に検査官から、受講した技師が施設に戻って他の技師に教授することも有りと、全ての技師が受講せずとも良いと受け取れる指導を受けたとのこと。実際に居合わせた受講済みの技師は立入検査後に「行って損した」的な発言がみられ、技師会での調査をお願いしたい。

白木副会長：検査官が、「全ての技師が受講せずとも良い」という発言はないと思う。何らかのコミュニケーションエラーが発生したのではないかと思われる。

野口庶務委員長：会長から、専門部委員会の時の協議として、以前も立入検査時の指導の内容について疑問点が上がったので、東京都に確認を取る段取りになっている。その際に、今回の意見についても確認を取ってくる。

千葉地区委員長：柔道整復師や理学療法士等の職種が、養成学校のカリキュラムに画像診断学を増やす件。

継続して他職種の動向を注視するよう日放技へ申し入れて欲しい。

白木副会長：他職の画像診断学について、日放技は反対声明を出しているので、確認もしていると思われる。

高橋地区委員長：理学療法士による超音波を使った筋肉量測定の学術発表が近年多く出てきている。そうなつてくると、カリキュラムに画像診断学を入れざるを得ないと思うので、現状の医療にあったものにするには画像診断学について他職にわれわれが意見するのはどうかと思う。

白木副会長：その部分の教科だけの話ではなく、そこからどのように広がっていくかといったところが危惧されている部分になるかと思われる。理学療法士についての画像診断学に関するところは、まだ、確認が取れていないかもしれないで確認をする。貴重な意見に感謝する。

連絡事項

1) 編集委員会：(代理 高橋委員)

・5月号の会誌が総会特集号となる。5月2日(水)に開催される理事会での決議事項を掲載し、5月7日(月)の発行・発送となる。通常より一週間ほど遅れることを了承願う。

2) 学術教育委員会：市川委員長

・今年度もフレッシャーズを2回開催する。会場は、研修センター60名と三鷹に100名の会場を押さえた。なるべく三鷹に参加してもらうようお願いする。

また、来週には各所属長宛てに案内を出す予定。

・ペイシエント学術大会が例年より早く開催となり現在、準備を進めている。次回の理事会には抄録集を配布できる予定。5月26日(土)サニーホールとなる。参加のほどよろしくお願いする。

・第62回、第63回のきめこまかな生涯教育を6月24日(日)に開催する。午前が第62回で、午後が第63回を予定している。多くの新卒、新入会の方に向けて企画したので、参加、協力をお願いする。

その他

新しく就任した4名の地区委員長の自己紹介を行った。

- ・増田祥代(第1地区委員長)
- ・目黒一浩(第4地区委員長)
- ・三富 明(第8地区委員長)
- ・鮎川幸司(第13地区委員長)

今後の予定について(総務)

・4月24日(火)に期末監査がある。現在、総務委員会で昨年度の事業報告書および各種議事録を確認している。不備があった際は、個別に連絡するので対応をお願いする。

・5月の理事会が、ゴールデンウイークのため2日(水)に開催する。それに伴い、専門部委員会も1日前倒しどなっている。各種報告書および申請書の提出も月曜日の23時59分までになっているので注意をお願いしたい。また、各種報告書申請書は決まったフォーマットと文言で提出をお願いする。

・事業予定表のエクセルシートを逐次更新しているので、最新のものを確認いただきたい。何かあれば、鈴木総務委員長まで連絡をお願いする。

以上

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成30年度

1. 学術研修会

☆第17回サマーセミナー 平成30年8月25日(土)

第21回メディカルマネジメント研修会 平成30年11月

☆第17回ウインターセミナー 平成31年1月

2. 生涯教育

第62回きめこまかな生涯教育 平成30年6月24日(日)

第63回きめこまかな生涯教育 平成30年6月24日(日)

第64回きめこまかな生涯教育 平成31年2月

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

第78回日暮里塾ワンコインセミナー(フレッシャーズセミナー合同開催) 平成30年6月10日(日)

第79回日暮里塾ワンコインセミナー 平成30年7月19日(木)

☆4. 第18回東放技・東京部会合同学術講演会

5. 集中講習会

第11回MRI集中講習会 平成31年2月

☆6. 支部研修会

城東支部研修会 平成30年7月27日(金)

城西・城南・城北・多摩支部研修会

7. 地区研修会

第9地区研修会 平成30年7月17日(火)

第4地区研修会 平成30年7月27日(金)

8. 特別委員会研修会

SR推進委員会研修会 平成31年3月

9. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

富津海岸清掃活動

関連団体

下町撮影技術検討会 第30回記念大会 平成30年6月9日(土)

平成30年度第1回関東Angio研究会 平成30年6月24日(日)

第35回中央医療技術専門学校 同窓会総会・中央放射線学会 平成30年6月30日(土)

平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 平成30年6月30日(土)~7月1日(日)

平成30年度診療放射線技師基礎技術講習「一般撮影」 平成30年7月8日(日)

平成30年度第2回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年7月15日(日)~16日(祝)

南関東FRT第4回研修会 平成30年8月25日(土)

平成30年度第3回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年9月8日(土)~9日(日)

平成30年度第4回業務拡大に伴う統一講習会 平成30年11月17日(土)~18日(日)

平成30年度第5回業務拡大に伴う統一講習会 平成31年1月26日(土)~27日(日)

平成30年度第6回業務拡大に伴う統一講習会 平成31年3月2日(土)~3日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性・女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

氏名の変更

改姓(変更後の氏名)

送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 一
	電話	
旧自宅住所		

その他

通信欄	
-----	--

受付
確認平成 年 月 日
平成 年 月 日 印

Postscript

もなく世界最大のサッカーの祭典である、FIFAワールドカップ2018ロシア大会が始まります。日本代表チームは6大会連続6回目の出場を、出場チームの中で最も早く決めましたが、開幕を前にして監督が交代するという非常事態になりました。何とかそれを乗り越えて躍進してほしいものです。

今回は、チームとしてより早くにワールドカップ出場を果たした日本人審判員について記したいと思います。

日本人として最初にワールドカップのピッチに立ったのは、1970年メキシコ大会に出場した丸山義行さんでした。次いで1986年メキシコ大会で日本人として初めて主審を務めた高田静夫さん。この大会でさらに2試合の線審を務めた高田さんは、続く1990年イタリア大会にも選出され、主審1試合と線審3試合を担当しました。

その後、サッカーの大きな試合では、審判員は主審、副審の専門性が採用されるようになりました。

日本代表チームが初めて出場権を獲得した1998年フランス大会には、岡田正義さんが「主審」として初めて選ばされました。

日本・韓国共同開催となった2002年大会には主審として上川徹さんが出場し、日本での「開幕戦」の笛を吹きました。

上川さんは2006年ドイツ大会にも選ばれ、副審に廣島禎数さんが出場しました。日本人の審判員がペアで出場したのは初めてのことであり、活躍もめざましく3位決定戦を任されるという栄誉を担いました。

2010年南アフリカ大会には、西村雄一主審と相樂亨副審のペアが出場しました。このペアは、ワールドカップの審判員を選考する各種大会での評価が高かったこともあり、1次リーグで3試合を担当し、決勝トーナメントでは準々決勝を任せられました。さらに西村さんと相樂さんは決勝戦の第4、第5審判員にもなり、試合後には記念メダルを授与されました。

2014年にはついに「日本人トリオ」がワールドカップの舞台に立ちました。西村主審、相樂副審の「連続出場組」に加え、副審として名木利幸さんが選ばされました。この3人は記念すべき開幕戦を担当するという名誉に与することになりました。

そして今回のロシア大会では、佐藤隆治主審と相樂副審が選出されました。相樂さんは3大会連続の選出となり、日本人審判員の新たな歴史をつくったことになります。選手と同様に審判員の2人も十分な準備をして大会を迎えてほしいものです。また選手の技術レベルの向上に合わせて、ゴールラインテクノロジーなど、正確な判定ができるようにレフリーをサポートする新しい技術も取り入れた大会となるようです。

国民の一人として、サッカーファンの一人として、日本チームの活躍を切に願うとともに、選手と同じように連続出場している日本人レフリーの活躍にも期待を寄せているペーパーレフリーです。 <tenai>

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
株式会社マエダ

東京放射線 第65巻 第6号

平成30年5月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成30年6月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃